

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
【発行日】 令和 6 年 10 月 17 日 (2024.10.17)

【公開番号】 特開 2024-95687 (P2024-95687A)
【公開日】 令和 6 年 7 月 10 日 (2024.7.10)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2024-128
【出願番号】 特願 2024-43160 (P2024-43160)
【国際特許分類】

C 0 7 K 1/02 (2006.01)

10

C 0 7 K 1/113 (2006.01)

C 0 7 K 1/34 (2006.01)

C 0 7 K 1/20 (2006.01)

C 0 7 K 1/18 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 1/02

C 0 7 K 1/113 Z N A

C 0 7 K 1/34

C 0 7 K 1/20

C 0 7 K 1/18

20

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 9 月 26 日 (2024.9.26)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

30

抗体コンジュゲートを調製する方法であって、

a) 単離された抗体をシステアミンに暴露する工程と、

b) トリフェニルホスフィン-3, 3', 3''-トリスルホネート (「TPPTS」) を添加する工程と、

c) 酸化剤を添加する工程と、

d) 活性化学部分を添加して抗体コンジュゲートが形成されるように共役反応を生じさせる工程と

を含む方法。

【請求項 2】

2～4 モル当量の TPPTS が添加される、請求項 1 に記載の方法。

40

【請求項 3】

前記酸化剤がデヒドロアスコルビン酸 (「DHAA」) である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

3～6 モル当量の DHAA が添加される、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記活性化学部分が GLP-1 受容体アゴニストを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記 GLP-1 受容体アゴニストがプロモアセチル化されている、請求項 5 に記載の方法

。

【請求項 7】

50

2～3モル当量のプロモアセチル化G L P－1受容体アゴニストが添加される、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

抗体－G L P－1受容体アゴニストコンジュゲートを調製する方法であって、

a) 単離された抗体をシステアミンに暴露する工程と、

b) 2～4モル当量のトリフェニルホスフィン－3, 3', 3''-トリスルホネート(「TPPTS」)を添加する工程と、

c) 3～6モル当量のDHAAを添加する工程と、

d) 2～3モル当量のプロモアセチル化G L P－1受容体アゴニストを添加する工程を含む方法。

10

20

30

40

50